

（出典）令和２年度第２回 野洲市子育て支援会議資料（令和２年１０月開催）

報告事項

令和２年度地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

（１）地域子育て支援拠点事業

① 事業の概要及び計画

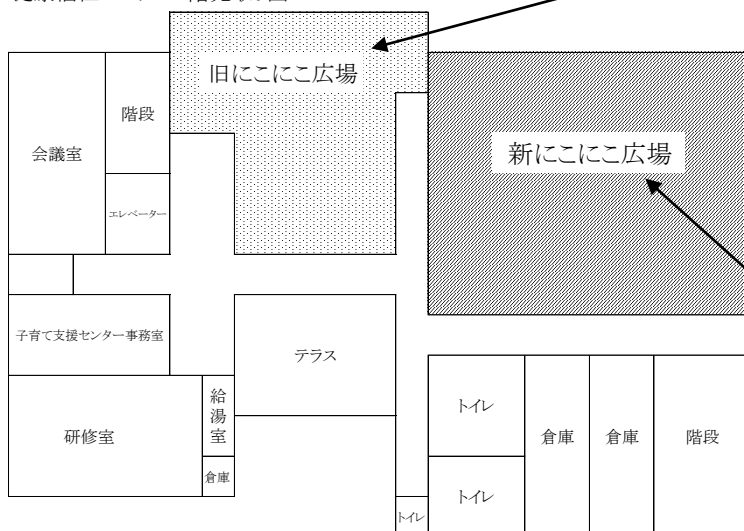
本事業を実施する施設は、野洲市子育て支援センター、きたの子育て支援センター、あやめ子育て支援センターの３か所であり、子育てについての相談、情報提供、助言その他援助を行っています。第二期計画では、本事業の周知による利用促進とともに、相談し安心できる環境づくりを図る等のほか、量の見込みに対応するため令和５年度以降は公共施設の空きスペースを活用し確保する予定としています。

② 令和２年度の動き

第二期計画の令和２年度計画では、本事業で特に実施する内容として、野洲市子育て支援センターにおいて遊び場の面積拡大を図り、利用ニーズに応えるとしています。

このことから、令和２年６月に野洲市子育て支援センターの「にこにこ広場」の実施場所をこれまでの健康福祉センター３階の空きスペースから同リハビリ室に変更し（下図参照）、７月から面積を拡大して実施しています。

健康福祉センター３階見取り図



（裏面に続きます。）

③ 今後の方針

令和2年度の動き、またこれに係る以下のア～ウを踏まえ、利用ニーズや動向を注視していきます。

ア. 確保量の増

野洲市子育て支援センターの「にこにこ広場」は面積拡大が図られたことから、次の枠内のとおり確保量の増を見込むことができます。

- ・野洲市子育て支援センターにおける確保量 8,820 人日／年…A
=21,000 人日／年(市内3センター確保量)×42%(野洲市子育て支援センター分)
- ・新にこにこ広場実測面積 260 m²÷旧にこにこ広場実測面積 129 m²=2.016…B
- ・よって、A×B=17,781 人日／年の確保量を見込むことができます。
※増加分は、今回確保量 17,781 人日／年－当初確保量 8,820 人日／年=8,961 人日／年
- ・これにより3センター確保量は、
21,000 人日／年+8,961 人日／年≒30,000 人日／年になります。

イ. 直近の利用実績

直近3年間の利用実績は3センターで16,527 人日(平成29年度)、16,949 人日(平成30年度)、15,122 人日(平成31年度)となっており、当初の確保量21,000 人日の範囲内で収まっています。

ウ. 見込量の不確定要素

第二期計画では潜在的な利用ニーズを見込んでいることから、30,000 人日を超える見込量としていますが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響による見込量の不確定要素があります。